

【経緯（概要）】

FMCTは 1993 年の国連総会でクリントン米大統領によって提案され、同年 12 月、核不拡散に大きく資する観点から、適切な国際的な場において交渉するよう提言した国連総会決議（A/RES/48/75¹）が採択された。その後、交渉の場をジュネーブ軍縮会議（以下、CD）とすることが合意され、1995 年に CD は交渉開始のための委員会を設置し、シャノン大使（加）が提出したシャノン・マンデートと呼ばれる報告書がコンセンサスで採択された。内容は、非差別的、多国間の枠組みで、国際的かつ有効な検証が可能な、核兵器又はその他の核爆発装置のための核分裂性物質の生産禁止条約に関する交渉を行うための特別委員会を設置し、特別委員会は 1995 年の会期終了までに進捗状況を CD に報告する、というものであった。しかし、当時の主要議題は CTBT であり、FMCT のプライオリティは低く、1998 年のインド及びパキスタンによる核実験まで、特別委員会の設置は行われなかった。

1999 年 1 月に米国が米本土ミサイル防衛（NMD）計画を発表すると、これを危惧した中国やロシアは宇宙空間における軍備競争の防止（PAROS）に関する交渉と FMCT 交渉開始をリンクさせる立場をとったが、2003 年 8 月に中国及びロシアはシャノン・マンデートをベースとする FMCT の交渉開始に前向きな姿勢を示した。

一方、米国のブッシュ政権は、2004 年には、FMCT の有効な検証は不可能との立場を表明し、2006 年 5 月の FMCT に関する集中討議において米国から提出された条約案には検証条項は含まれなかった。こうした検証を巡る主要国の政策の相違を主な原因として FMCT の交渉を開始できない状況が続いた。

【条約の争点項目】

条約交渉の主要な論点は以下の通りである。

・生産禁止の範囲・定義

生産禁止の対象となる核分裂性物質の定義については、意見に隔たりがある。例えば、アメリシウム、ネプツニウム等の代替核物質を含めるべきかという問題がある。核分裂性物質という用語も、核兵器に使われやすい核物質、兵器級核物質、兵器に利用可能な核物質、など異なる定義がこれまで主張されている。

過去に生産された核分裂性物質の在庫分も含むのか、それとも将来生産される核分裂性物質のみを対象とするのか、については今後交渉の争点の一つとな

¹ 国連総会決議 A/RES/48/75。

ることが予想される。インドは、条約は将来の兵器用またはその他の核爆発装置用の核分裂性物質の生産に限定すべきだと主張しているが、パキスタンは過去に生産された兵器用核分裂性物質も対象としなければ核戦力上の各国の不平等状態を固定してしまい、インドに核戦力上の優位を与えてしまうと安全保障上の懸念を示している。

一部の国では、高濃縮ウランを艦船、特に軍用潜水艦の推進燃料として利用している。このような利用は非爆発目的の利用として、核兵器国、非核兵器国を問わず、IAEAによる包括的保障措置の適用対象外になっている。このような利用までも検証の対象としなければ条約に抜け道を残すことになるかと指摘されており、今後の交渉の焦点の一つと考えられる。

- ・有効な検証が可能な手段の確保

有効な検証が可能な手段に関する合意についても多くの困難が予想される。査察は最も有効な検証手段の一つと考えられるが、軍事施設や商業施設へのアクセスによる機微情報の漏えいという懸念が指摘されている。機微情報を保護しつつ、いかに有効な検証を確保できるか注目される。条約違反の疑いがある場合には要請に基づいて検証機関が査察を行う申し立て査察（チャレンジ査察）のような査察形態が考えられるが、特に、非核兵器保有国はNPTにおける不平等性を是正するために、非差別的かつ有効な検証が可能な条約の成立を主張することが予測されるため、核兵器保有国の安全保障との問題で両立可能な解決策を見出すには多くの困難が予想される。

他にも二者間による検証取極（例えば、各国とIAEAのような機関による取極）か多国間の取極か、といった観点からも課題があると指摘されている。

非差別的・有効な検証が可能な条約、というシャノン・マンドートに照らすと、上記のような問題を含む本条約の交渉には多くの時間を要することが予想される。

(参考)

- ・外務省 HP

http://www.mofa.go.jp/MOFAJ/gaiko/un_cd/cd/gaiyo.html

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/fmct/gaiyo.html>

- ・CD/1863

<http://www.reachingcriticalwill.org/political/cd/papers09/2session/CD1863.pd>

f

- 国連 HP

[http://www.unog.ch/80256EDD006B9C2E/\(httpNewsByYear_en\)/06FDB550DED84AABC125753F0037917B?OpenDocument](http://www.unog.ch/80256EDD006B9C2E/(httpNewsByYear_en)/06FDB550DED84AABC125753F0037917B?OpenDocument)

- CRS Report for Congress

<http://www.fas.org/sgp/crs/nuke/RS22474.pdf>

- Arms Control Association

http://www.armscontrol.org/act/2009_6/CD

- Reaching Critical Will

<http://www.reachingcriticalwill.org/legal/fmct.html>

- Acronym Institute

<http://www.acronym.org.uk/dd/dd83/83fissban.htm>

<http://www.acronym.org.uk/dd/dd79/79jp.htm>